

デルタ・ナイフ

光学顕微鏡用準超薄切片作製、電子顕微鏡用試料の面出しはもちろん、硬組織や材料系の試料など、硬いものの切削に威力を発揮



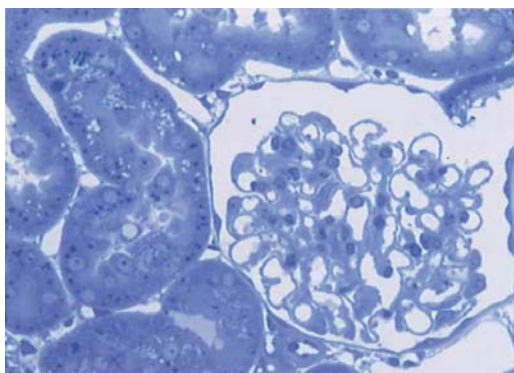
【特長】

- ミクロトームに装着して使用することにより、樹脂ブロックの準超薄切片の切削ができます。
- ヒストダイヤモンドナイフによる準超薄切片作製のための面出しに使用することができます。
- 超硬タングステン鋼をベースにした刃先は、特殊な加工技術により、高い強度と耐久性を兼ね備えています。
- ガラスナイフ、サファイアナイフよりもはるかに硬度が高いため、刃先の摩擦が少なく、長期間使用できます。

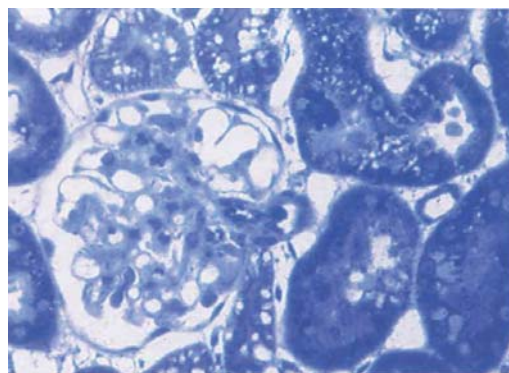
アプリケーション

1、エポキシ樹脂の切削

Rat 腎臓、1 μm トルイジンブルー染色



▲ ガラスナイフで切削



▲ デルタ・ナイフで切削

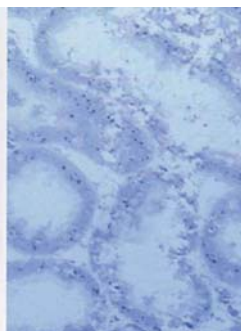
デルタ・ナイフはタングステンカーバイトの超微粒子粉末を材料にしているため、その性質上エポキシ系などの硬い樹脂を切削すると切片は摺ガラス状に白濁しますが、上の写真のように、光学顕微鏡観察には差し支えありません。

MT-XL、MT-7000型ウルトラミクロトームは切削トルクが大きいので、デルタ・ナイフの使用に適しています。

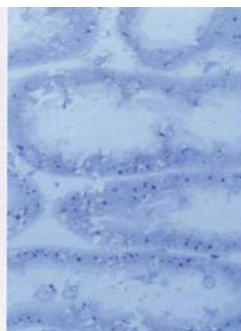
2、準超薄切片作製における面出し工程でのデルタ・ナイフの使用



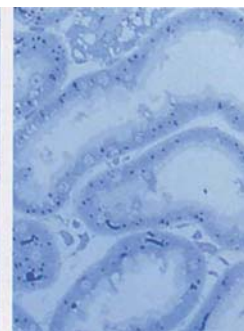
▲ デルタ・ナイフで面出し後、ヒストダイヤモンドナイフで切削しているところ



▲ ヒストダイヤモンドナイフにて < 1枚目 >



▲ ヒストダイヤモンドナイフにて < 2枚目 >



▲ ヒストダイヤモンドナイフにて < 3枚目 >

デルタ・ナイフにより面出しした後、ヒストダイヤモンドナイフでの準超薄切片の作製が可能です。デルタ・ナイフでの切削により、1 μm 位の傷が入るため、厚さ0.5 μm の切片で3枚目の準超薄切片より使用できます。ヒストダイヤモンドナイフ6°、デルタ・ナイフは4°~6°の逃げ角で切削が可能なので、ナイフを取替えるときに水平方向はもちろん、逃げ角を調整し直す必要もありません。



メイワフォーシス 株式会社
meiwafosis.com

東京：〒160-0022 新宿区新宿1-14-2 KI御苑前ビル
TEL (03)5379-0051 (代) FAX (03)5379-0811

大阪：〒558-0047 大阪市住吉区千鉢2-4-25

TEL (06)6674-2222 (代) FAX (06)6674-2323

名古屋：〒464-0075 名古屋市中種区内山3-10-18 PPビル
TEL (052)686-4794 (代) FAX (052)686-5114

仙台：〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-4-1

TEL (022)218-0560 (代) FAX (022)218-0561